

第 1 号通信

---

---

研究報告申込要領

(2022 年 5 月 31 日)

日本広告学会  
第 53 回全国大会ご案内  
[研究報告申し込みのご案内]

大会統一論題

SDGs と広告のこれから  
—社会的課題への接近と広告の役割—

日本広告学会第 53 回全国大会

主催校 東海大学（オンライン開催）

2022 年 11 月 11 日（金）～13 日（日）

大会運営委員長 東海大学 小泉眞人  
大会運営委員会事務局 東海大学文化社会学部広報メディア学科  
小泉眞人研究室内  
〒259-1292 神奈川県平塚市北金目 4-1-1  
代表) 0463-58-1211（内線 3071） mkoi3@hotmail.com

## ご挨拶

2022 年秋、日本広告学会第 53 回全国大会が東海大学を主催校として開催されることになりました。第 53 回全国大会を本学で開催できることを光栄に存じます。

統一論題では、「SDGs と広告のこれから－社会的課題への接近と広告の役割－」と致しました。現在、SDGs (Sustainable Development Goals) は企業経営から広告・広報におけるコミュニケーション活動まで様々な視点から議論が行われています。いまや、企業の社会的課題への対応は重要な局面を迎えていると考えられます。そのような状況を踏まえ、今後の広告の在り方、進むべき方向性とはどのようなものか、様々な立場・視点から会員の皆さまの中で議論が盛り上がる大会になるよう、最善を尽くして参ります。

本大会の開催形式は、新型コロナウイルス (Covid19) の影響を鑑みて、オンラインによる開催と致しました。ぜひ多くの会員の皆さまのご参加をお待ちしています。

2022 年 5 月 31 日

日本広告学会第 53 回全国大会  
大会運営委員長 小泉真人  
(東海大学文化社会学部広報メディア学科)

## 1. 大会統一論題 (大会テーマ)

### SDGs と広告のこれから －社会的課題への接近と広告の役割－

現在 SDGs (Sustainable Development Goals : 2016 年～2030 年までの 15 年間で、国連加盟 193 カ国が達成するために掲げた 17 個の目標と 169 のターゲット) は、企業経営からマーケティング活動、さらには広告・広報におけるコミュニケーション活動まで様々な視点から研究や活動が展開されており、いまや社会的にも大きなインパクトを持つようになってきている。

今日のコロナ禍において、SDGs の社会的影響の高まりが、生活者の中にサステナブル (持続可能) な消費行動への関心を高めている。また、SDGs に関連する広告・広報コミュニケーション活動の展開によって社内外のステークホルダーとの信頼関係が促進される傾向にあるとも言われている。企業においては、ブランドパーパス (社会的存在意義) 研究等とともに、社会的課題を解決するためのテーマとして広告の中で SDGs が取り上げられるようになってきている。

しかしながら、このような社会的状況の中で、広告コミュニケーションによって SDGs をうまく推進することが難しい企業も出てきていると考えられる。積極的に社会的課題を解決する企業への要望やニーズが高まっている現在、社会的影響力のある SDGs への取り組みを今後、どのように企業経営あるいは広告コミュニケーションに展開していくべきか。本大会では社会的課題へどのようにアプローチし向き合っていくべきなのか、広告研究の視点のみならず多面的な視点から、今日の SDGs と広告コミュニケーションのあり方について、企業を取り巻く環境変化を踏まえながら、さまざまな研究・発表・討議ができればと考えている。

## 2. 日程（すべてオンライン開催）

2022年11月11日（金）～11月13日（日）

- ・11日（金） 午後：各種委員会、理事会兼常任理事会
- ・12日（土） 基調講演、シンポジウム、会員総会等
- ・13日（日） プロジェクト研究報告、自由論題報告

## 3. 会場

今回は、新型コロナウイルス（Covid19）の影響を鑑みて、オンライン開催と致しました。Zoom 会議システムを使用する予定です。オンライン開催であることから、オンライン開催のメリットを活かしつつ、大会運営を行って参ります。多くの会員の皆さまの参加を心よりお待ちしております。

## 4. 研究報告のお申し込み

本大会の「研究報告」は全て自由論題報告です。自由論題報告は、広告理論および実務のさまざまな分野から自由なテーマでの研究報告です。なお、研究報告の要領は以下のとおりです。

- (1) **報告者の資格**：本年度までの年会費を7月24日（日）までに納入済みの、日本広告学会正会員及び名誉会員。
- (2) **報告件数**：一人1件。なお、共同研究で第一著者でない場合は、複数件の報告を妨げません。共同研究の場合、第一著者は必ず当日、報告して下さい。第二著者以降の報告は任意です。
- (3) **報告予定数**：18件程度。報告時間は30分（報告20分、質疑応答10分）とします。なお、報告件数については応募状況により変更の予定です。
- (4) **報告申し込み方法**：
  - ・「研究報告申込書」（学会ホームページからダウンロードしたもの）にご記入の上、大会運営委員会事務局宛にメールでお申し込みください。郵送およびFAXでのお申し込みはできませんのでご注意ください。
  - ・申込期限：2022年7月31日（日）23時59分まで。
  - ・その後、『大会報告要旨集』原稿（A4用紙4ページ程度）を、8月31日（水）までにご提出いただきます。その作成要領は、6月中を目処に学会ホームページでダウンロードできるように致します。
- (5) **報告者の決定**：大会運営委員会が研究報告要旨の内容を検討し、決定いたします。結果は、応募された会員宛に、9月中旬までに通知いたします。

## 5. 今後の予定

### 第2号通信

- ・大会プログラム、大会参加申込手続き、大会参加費等のご案内
- ・2022年10月上旬の発行予定

## 6. 第53回（2022年度）全国大会運営委員会

### 大会運営委員

- ・委員長 小泉真人（東海大学）
- ・副委員長 石崎 徹（専修大学）
- ・委員(50音順) 井上一郎（江戸川大学）、河井孝仁（東海大学）  
芳賀康浩（青山学院大学）、松本大吾（千葉商科大学）

### 事務局

東海大学 文化社会学部 広報メディア学科 小泉真人研究室内

住所：〒259-1292 神奈川県平塚市北金目 4-1-1

電話：代表）0463-58-1211 （内線 3071）

E-mail：mkoi3@hotmail.com

大会に関するお問い合わせは、大会運営委員会事務局宛にお知らせください。  
研究室を不在にすることが多いため、できる限りメールにてご連絡ください。

以上